

ニチアス幸せ価値指数

当社グループが掲げている「働きやすい明るい会社」の実現度を評価するしくみとして、「ニチアス幸せ価値指数」を制定し、2022年以降毎年調査しています。

P17参照

健康

健康経営宣言

当社グループは従業員の健康と安全を企業活動の基盤と捉え、一人ひとりの心身が健康であるからこそ、イキイキと働ける明るい会社になると考えています。こうした方針のもと、2021年4月に「ニチアス健康経営宣言」を制定しました。職場の健康、からだの健康、こころの健康の3項目を重点施策と位置づけ、健康の「しくみ」づくりを実施し、従業員の健康管理に積極的に取り組んでいます。

重点施策		
	職場の健康	イキイキと働ける明るい職場づくり ・ありがとうがあふれる明るい会社
	からだの健康	疾病の早期発見と予防 ・定期健康診断の有所見者の低減 ・生活習慣病のリスク者の低減
	こころの健康	ストレスに気づき、パフォーマンスを向上 ・ストレスチェックの実施と職場環境改善 ・メンタルヘルス教育によるラインケアとセルフケア意識の向上

健康経営優良法人の認定

当社は経済産業省および日本健康会議が顕彰する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されました。2022年から4年連続となります。また、グループ各社でも健康経営活動を行っています。グループの新日本熟学株式会社では、中小規模法人部門でプライト500に認定されました。その他各社、健康経営優良法人の認定を取得しています。

また当社は、従業員の健康増進に会社全体で取り組んでいます。特に運動習慣の定着化として、ウォーキングイベントの期間を2ヵ月と長くしました。また、ニチアス専用のWEBサイトを作成して、参加者の歩数をランキング化して競い合いを促し、1日平均8,000歩以上を目指すようにしました。

今後も健康推進、健康リテラシー向上のしくみづくり、従業員のパフォーマンス向上を図っていきます。

健康に関する情報

健康維持のために、定期健康診断などでは、再検査が必要な場合は、二次健診を推奨しています。また、ニチアス健康保険組合とも連携しインフルエンザ予防接種の支援、運動イベント、健康診断時の各種オプション検査の受診補助を実施し、35歳以上の従業員には人間ドックの受診を奨励・支援しています。さらには、健康状態や生活習慣に対する会社全体での目標値を設定して健康管理に取り組んでいます。

メンタルヘルスケア

当社ではこころの健康にも重点を置き、精神科医と産業医契約を交わし、従業員を支援しています。不調者に対して、定期的な面談を実施し、復職後も継続して面談を行い支援しています。また、必要に応じてその上司の支援も行っています。さらには、新入社員や新任管理職などに対する社内研修では、必ずメンタルヘルス教育を設けており、ラインケアとセルフケア意識の向上にも取り組んでいます。ストレスチェックでは、50名未満の事業所も含め、当社グループ25社、およそ5,300名を対象に実施をしました。また、集団分析も行い、より働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

従業員の健康リテラシーの向上

従業員一人ひとりの心身の健康を保つためには、従業員自身の健康に対する正しい知識習得が必要と考えています。グループ報「とんぼのわ」に産業医による従業員向けの健康啓発コラムを掲載して、健康リテラシーの向上に役立てています。

グループ全社をあげたウォーキングイベントを実施しており、専用ソフトを利用して、楽しみながらチャレンジできるようにしました。

ワークライフバランス

有給休暇

当社では、従業員が安心して働ける職場づくりの一環として、長時間労働の抑制を目的に総実労働時間管理をするとともに、年次有給休暇の取得目標を掲げ、積極的に取得を推進しています。従業員には、あらかじめ1年間の年次有給休暇の取得計画を立ててもらい、周囲ともその計画を共有することで、本人の取得意識の向上に加え、組織として年次有給休暇が取得しやすい雰囲気づくりにも気を配っています。

P10参照

育児休業取得率

当社では、従業員の育児と仕事の両立支援を図るため、法令を上回る内容のさまざまな制度があり、その制度を分かりやすくしたガイドブックを作成し、情報発信等を行っています。年々、男性従業員で育児休業を取る人数が増え、取得日数も増加しています。

		2022年度	2023年度	2024年度
男女別の育児休業取得率 (当社単体)	男性の取得率	36.1%	47.5%	67.9%
	育児休業した男性	13名	19名	36名
	女性の取得率*	110.0%	100.0%	93.8%
	育児休業した女性	11名	14名	15名
	出産した女性	10名	14名	16名

※ 厚生労働省の定めに基づき、取得率を算出しています。

ステークホルダーとのコミュニケーション

IR活動

当社では株主・投資家のみなさまに対し、フェアディスクロージャーの観点のもとコミュニケーションの充実に努めています。2024年度は、期末決算および第2四半期決算発表時にWEBによる決算説明会を開催しました。また、スモールミーティングや施設見学会、証券会社主催の国内外のカンファレンスへの参加も行いました。日常的には、対面ならびにWEB、電話会議システムを用いて、延べ221件のIRミーティングを行いました。対話を通して得られたご意見については、IR担当が定期的に経営会議などで報告し、経営・事業活動の改善に役立てています。引き続き、国内外の株主・投資家のみなさまとのコミュニケーションを強化し、幅広い株主層の形成に努めてまいります。

従業員家族との関係形成

従業員のご家族と会社が良好な関係を構築することはとても大切なことです。従業員のお子さんに両親の働いている姿を見てもらうことは、お子さんの職業観育成や当社グループが目指している「働きやすい明るい会社」の実現の一助となるものです。お子さんに両親の職場を訪問してもらう企画「こども参観日」を2025年8月に実施しました。本企画は2015年にはじまり、2020年から4年間のコロナ禍による中断期間はありましたが、毎年実施しております。

また、当社のグループ会社、日本ロックウール社の製品である農業用培地「やさいはな® ポット」を毎年夏、グループ従業員のご家族に配布しています。こちらは2020年にはじまり、本年で6年目になります。トマトの実がなった、ミニひまわりの花が咲いたなどのほほえましい成果を、各ご家族から報告いただいています。

文化・スポーツへの支援活動

プロバスケットボールチーム「広島ドラゴンフライズ」への協賛

当社はBリーグに所属するプロバスケットボールチーム広島ドラゴンフライズを2025-26シーズンのダイヤモンドパートナーとして応援しています。広島ドラゴンフライズのチーム名は、日本では広島県廿日市市宮島町にのみ生息している絶滅危惧種「ミヤジマトンボ」に由来し、チームロゴには当社のコーポレートマークと同じく、トンボを使用しています。当社ではトンボの生態を守る活動を展開しており、その活動を広島ドラゴンフライズとともに進め、スポーツの振興や文化の発展だけでなく、自然環境保護にも貢献してまいります。



当社ロゴマークが入ったユニフォーム

レーシングチーム「チームルマン」への協賛

当社はSUPER GTシリーズに参戦するレーシングチーム「VELOREX(チームルマン)」を協賛しています。SUPER GTシリーズは、1レース当たりの観客動員数3~6万人と、日本の自動車レースで最大の観客動員を誇る国内最大級の大会です。シーズン中はレースマシンであるフェラーリに当社のブランドロゴが掲載されています。当社はスポンサー契約を通してモータースポーツ文化の振興に貢献してまいります。



当社ロゴマークをつけたレースカー